



ジパング企業債ファンド

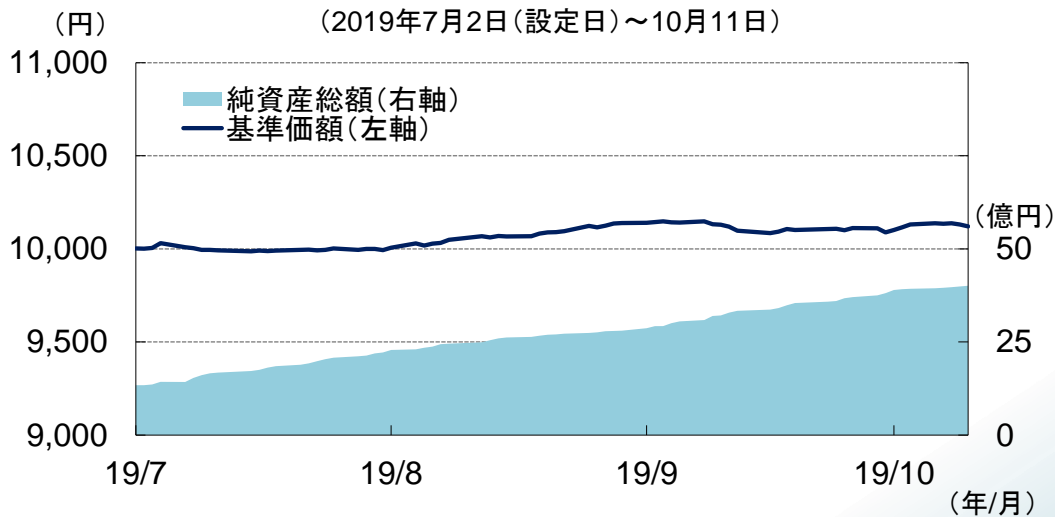
足元の運用状況と今後の見通し

「ジパング企業」(日本企業や日本企業の海外子会社)が発行する様々な債券に投資する当ファンドは、運用開始から3か月が経過しました。本資料では、足元の運用状況や運用者のコメントなどをご紹介します。

当ファンドの運用状況

- 日米欧の中央銀行が金融緩和姿勢を強化・維持するなか、国債利回りは低下(債券価格は上昇)傾向となり、社債市場も堅調な推移が続きました。こうしたなか、当ファンドの基準価額も安定した推移となりました。

<基準価額と純資産総額の推移>
(2019年7月2日(設定日)～10月11日)



| 基準価額 | 純資産総額 |
|---------|---------|
| 10,120円 | 40.08億円 |

(2019年10月11日現在)

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「ジパング企業債ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者のコメント

【足元の運用方針】コストの観点から、新規発行銘柄の組み入れを重視

- 国債利回りは世界的に低水準に留まっていますが、**弊社では、独自のクレジット分析に基づき、より魅力的な銘柄をポートフォリオに組み入れることでファンドの利回りを高め、基準価額の安定と向上を図っていきます。**
- 当ファンドでは現在、ソフトバンクグループの普通社債(2019年9月発行)など、積極的に**新規発行銘柄**を組み入れています。一般に、新発債の方が既発債を証券会社の在庫から購入するよりも、取引コストを抑えられる傾向にあるためです。また、足元の低金利を背景に、企業の資金調達需要が高まるなか、新規発行銘柄の組入機会が増えてきています。このほか、為替ヘッジコストを考慮した上でも、**相対的に利回りが高い米ドル建ての社債**も多く組み入れています。

<組入上位10銘柄> (2019年9月30日現在)

(組入銘柄数:29銘柄)

| | 銘柄 | クーポン (%) | 発行通貨 | 償還日 | 次回早期償還日 | 発行体格付 | 銘柄格付 | 比率 |
|----|-------------------------------------|----------|--------|------------|------------|-------|------|------|
| 1 | 第1回武田薬品工業株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付(劣後特約付) | 1.720 | 日本円 | 2079/6/6 | 2024/10/4 | A+ | A- | 5.8% |
| 2 | MIZUHO FINANCIAL GROUP | 4.353 | アメリカドル | 2025/10/20 | - | AA- | BBB+ | 5.8% |
| 3 | 第57回ソフトバンクグループ株式会社無担保社債 | 1.380 | 日本円 | 2026/9/11 | - | A- | A- | 5.6% |
| 4 | DAIICHI LIFE INSURANCE | 4.000 | アメリカドル | (永久債) | 2026/7/24 | AA- | A- | 4.7% |
| 5 | SUMITOMO MITSUI FINANCIAL GROUP | 3.202 | アメリカドル | 2029/9/17 | - | AA- | A | 4.6% |
| 6 | SUMITOMO LIFE INSURANCE | 4.000 | アメリカドル | 2077/9/14 | 2027/9/14 | AA- | A- | 4.4% |
| 7 | mitsui sumitomo insurance | 4.950 | アメリカドル | (永久債) | 2029/3/6 | AA+ | A- | 4.0% |
| 8 | MEIJI YASUDA LIFE INSURANCE | 5.100 | アメリカドル | 2048/4/26 | 2028/4/26 | AA- | A- | 3.4% |
| 9 | FUKOKU MUTUAL LIFE INSURANCE | 6.500 | アメリカドル | (永久債) | 2023/9/19 | AA- | BBB+ | 3.4% |
| 10 | NIPPON LIFE INSURANCE | 5.100 | アメリカドル | 2044/10/16 | 2024/10/16 | AA | A- | 3.3% |

※マザーファンドの状況であり、対純資産総額比です。
 ※格付は、主要格付機関の格付のなかから最も高い格付を採用しています。
 ※銘柄格付は、一部発行体格付を表記している場合があります。
 ※発行体格付は、親会社の格付を表記している場合があります。
 ※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

【今後の見通し】世界的な金融緩和を追い風に、債券市場の堅調な推移を見込む

- 米中貿易摩擦などを背景に世界景気の減速が懸念されますが、当面、世界の主要中央銀行による**金融緩和継続が見込まれるなか、債券市場の堅調な推移を想定**しています。
- 引き続き、個別銘柄の信用度を十分に調査し、銘柄分散なども考慮した上で、ジパング企業が発行する各種債券などに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用してまいります。

上記は、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「ジパング企業債ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの概要

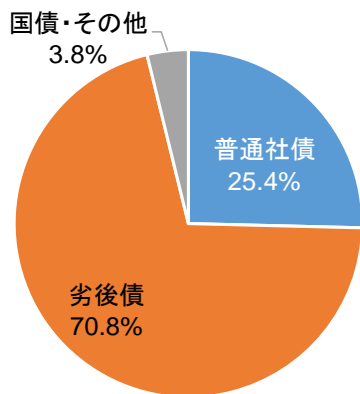
(2019年9月30日時点)

<ポートフォリオの特性値>

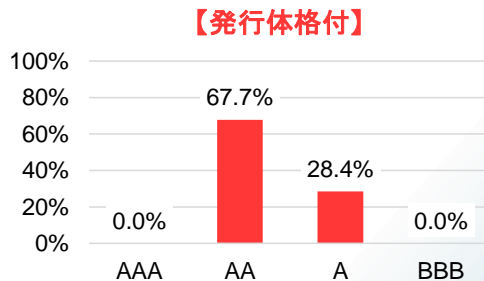
| | |
|--------------------------|-------|
| 平均残存期間 | 7.7年 |
| 平均デュレーション | 7.1年 |
| 平均直接利回り | 2.37% |
| 平均最終利回り (為替ヘッジコスト控除前) | 1.83% |
| 平均最終利回り (為替ヘッジコスト控除後) | 0.77% |

※ポートフォリオ特性値は、債券を次回早期償還日まで保有した場合の値です。
 ※各利回りは、信託報酬、手数料および税金などを考慮しておりません。また実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。
 ※直接利回りは、債券の時価価格に対する1年間に受け取る利息の割合を表したものです。為替ヘッジコストを考慮していません。
 ※最終利回りは、債券を満期まで保有した場合の利回りです。
 ※平均最終利回り(為替ヘッジコスト控除後)は、3か月フォワードレートをを用いて計算した為替ヘッジコストを月末の通貨別構成比で按分したものを控除した概算値であり、実際の水準とは異なります。

<公社債種別構成比>

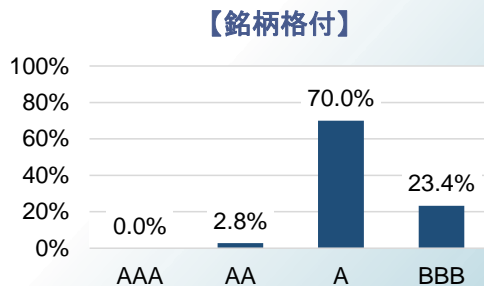


<格付別構成比>



<通貨別構成比>

| | |
|-------|-------|
| 円建て | 56.6% |
| 米ドル建て | 39.6% |



※外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。

■マザーファンドの状況であり、対純資産総額比です。
 ※格付は、主要格付機関の格付のなかから最も高い格付を採用しています。
 ※銘柄格付は、一部発行体格付を表記している場合があります。
 ※発行体格付は、親会社の格付を表記している場合があります。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「ジパング企業債ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

- 1** 主として、「ジパング企業」(日本企業や日本企業の海外子会社)などが発行する様々な債券に投資し、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。
- 2** 利回り向上などの観点から、円建ての債券に加え、外貨建ての債券にも投資します*。
* 外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
- 3** 年2回、決算を行いません。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みにあたっての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券(普通社債および劣後債)を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【劣後債への投資に伴うリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「ジパング企業債ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お 申 込 み メ モ

| | |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／債券 |
| 購入単位 | 100万円以上1円単位 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| 信託期間 | 2029年5月15日まで(2019年7月2日設定) |
| 決算日 | 毎年5月15日、11月15日(休業日の場合は翌営業日) |
| 購入・換金申込不可日 | 販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金代金 | 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。 |

手 数 料 等 の 概 要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

< 申込時、換金時にご負担いただく費用 >

| | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 購入時手数料 | 三井住友信託銀行における購入時手数料率は、以下の通りです。 購入時の基準価額に対し0.55%(税抜0.50%) ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 |
| 換金手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |

< 信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用 >

| | |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運用管理費用(信託報酬) | ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.803%(税抜0.73%)以内 各計算期に適用する運用管理費用(年率)は、前計算期終了日(第1計算期は設定日前営業日)におけるわが国の新発10年国債の利回りに応じて変動します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 |
| その他の費用・手数料 | 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。 |

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

| | |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委託会社 | 日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 |
| 受託会社 | 三井住友信託銀行株式会社 |
| 販売会社 | 販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。) |

【投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは】

| 金融商品取引業者等の名称 | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|--------------|--------|-----------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| 三井住友信託銀行株式会社 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第649号 | ○ | ○ | ○ | |

(資料作成日現在)